

地域トピックス 八本松中央地区

「歩行者横断旗」設置 日興ホーム寄贈

八本松小学校 横断歩道の渡り方を指導 児童に安全な登下校を

これらの横断歩道は、小学生の登下校や幼稚園の送り迎え等に使用されている要の横断歩道。特に交通量も多く通行する際、車に止まってもらうよう意思表示



先生の誘導で落ち着いた児童（横断旗が設置された八本松集会所前の横断歩道）

「横断旗を用い車に止まってもらい、左右を確認したうえで横断するよう」安全な横断歩道の渡り方を繰り返し指導した。また、一斉下校で

中央自治会は以前から通学路の表示等の安全対策や登下校時の見守り活動を組織的に行ってきたが、このたび古い横断旗を更新するため、地域企業の（株）日興ホーム（西条町寺家）から横断旗の寄贈をうけ設置が実現した。これをうけ、八本松小学校（校長 土肥美由紀）は、7月1日（木）一斉下校の前、全校児童に新たに横断旗が設置されたことを紹介し、

「横断旗」は必要なものとなっている。多くの先生方が誘導に当たり児童の安全を確保していた。なお、この日の横断歩道を利用したのは約160人の児童であったが、全員渡り切るまで5分間と児童たちの迅速で落ち着いた行動も見受けられた。

八本松中央自治会（会長 常光 聡）は、6月26日（土）地区にある3力所の信号機のない横断歩道（八本松集会所前、幼稚園前、山田脳神経外科前）に、歩行者用専用の「歩行者」と書かれた「横断旗」を備え付けた。



横断旗を設置した中央自治会の方々（山田脳神経外科前の横断歩道）

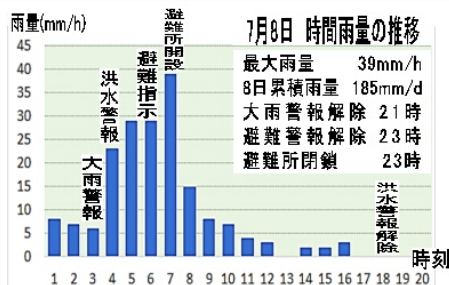
最も多くの児童が利用する八本松集会所前の横断歩道には、多くの先生方が誘導に当たり児童の安全を確保していた。なお、この日の横断歩道を利用したのは約160人の児童であったが、全員渡り切るまで5分間と児童たちの迅速で落ち着いた行動も見受けられた。

ドライバーの皆さんにも横断旗が見えたら必ず停止するよう心がけていただければ幸いです。

大雨で道路の冠水や河川の増水

自治協
防災本部

地域センターに集結した本部員から、各地の被災状況が報告され、関係者や関係機関と連携し即座に防災対応が図られた。今回の豪雨は、8日早朝に出された避難情報があったが、解除された後、9日の早朝にも再度発令される異常なもので、避難所の開設は両日とも最大雨量を記録した時間帯となり、避



難される方も少なく、今後課題を残した。また、地域から報告された被災件数は、11件（中央6、宗吉3、下組2）にのぼり、その殆どが防災委員会作成の防災マップに記載された箇所が発生。今後の公的な防災事業としての取組が期待される。さらに、9日は警戒情報が発令される前に小学校に登校した児童たちを安全に下校させるため、小学校からの依頼を受け日頃の見守り隊の方の誘導体制を強化。特に、土砂災害等警戒ゾーンが含まれていて、通学路は事前安全確認をしっかりと

児童を安全に誘導し下校させた。なお、曾場ヶ城山で進められている林野庁直轄事業で沿山ダムが完成した溪流からは、異常は認められなかった。



田中学習塾付近の436号線の冠水 最大30cm以上の深さ 通学路に当たっている



八本松病院付近の深瀬川(黒瀬川支流)の増水

児童を安全に誘導し下校させた。なお、曾場ヶ城山で進められている林野庁直轄事業で沿山ダムが完成した溪流からは、異常は認められなかった。